



## 持続可能な商品とサービス開発及び提供方針

---

承認日：2025/4/25

SATOYAMA EXPERIENCE(以下 SE)は、運営するアクティビティおよび宿泊施設「SATOYAMA STAY (以下、SS)」において持続可能な商品およびサービスの推進に取り組んでいます。このポリシーは SE の Sustainable Policy の一部です。

私たちのような現地のアクティビティや宿泊施設のプロバイダーが、サステイナブルツーリズムを推進していくことは、観光業界全体に大きく波及していくためにも非常に重要なことです。

私たちが商品を開発し、提案する際には、ゲストの予算の範囲内で最も持続可能なパッケージを提供します。またサステイナブルツーリズムを推進する旅行代理店と提携し、そのような旅を求めるゲストに SE のサービスを提案してもらいます。

この方針は、SE が提携する現地のアクティビティ業者や宿泊業者の選定にも適用されます。また、本方針は、経営陣による承認および社内スタッフへの周知後、直ちに発行され、その整合性の維持と確認のためにも、2年ごとの見直しを実施します。

### 基本 3 原則

SE および SS では、以下の基本原則に従ってアクティビティおよび宿泊サービスをゲストへ提供します。

#### 1.適切なサービスと適切な価格

衛生的で安全であることはもちろん、ゲストの期待に応えうる快適なサービスを提供します。また、ゲストの予算内で最も持続可能なオプションを選択し、商品を構成します。

#### 2.公正なビジネス

法律、人権、経済・社会的平等、環境・動物保護など、公正なビジネス慣行に従って運営します。





### 3.地域環境・社会へのポジティブインパクトの最大化

持続可能な活動を最優先事項としてアクティビティと宿泊事業の運営を実施します。地域の環境や社会へのネガティブインパクトを最小限にし、地域の持続可能性に寄与できるよう最大限の努力をします。例えば、地域住民とアクティビティ参加者や宿泊ゲスト間の交流の機会を積極的に設け、地域の文化的価値の理解、共有を促す。地域の里山環境/文化保全へのボランティアプログラムを企画する、など。

## 持続可能な商品開発・運営における基本考慮事項

### ◆ヒューマンケア

SE および SS では、人々の平等な権利と待遇を確保・支援し、会社の社会的責任を認識させるためにも、年齢、人種、性別、宗教、障害、社会経済的地位などによって差別することなくすべての職種においてスタッフを採用します。加えて、スタッフが安心・安定した生活ができるよう福利厚生を充実させ、良好な労働条件を維持し提供します。

また、SE は観光産業にとって重要な人材に配慮している事業者との協働するためにも、各社が雇用する従業員に対しても良好な労働条件（最低賃金、規定内労働時間、適切な昼食時間の確保など）を維持できているかどうかを評価します。

### ◆使い捨てプラスチック使用の削減

SE および SS では、プラスチックの使用を最小限に抑えるためにも、フロントにウォーターサーバーを設置することで当施設を利用する全ての人へマイボトルまたは使用済みボトルの再利用を推奨しています。また、SS では使い捨てのバニティキットや個包装された使い切りサイズの石鹸類の客室での提供はしません。フロントにて、最低限のアメニティをリクエストベースでのみ提供します。施設やアクティビティで飲食物を提供する際は、個包装商品の提供は可能な限り最小限とします。

### ◆廃棄物管理

SE および SS では、紙廃棄物をなくすため、予約受付から事後アンケートに至るまで全てをオンライン化しています。アクティビティおよび当施設から出る廃棄物は全て市の廃棄物管理基準に則って分別、廃棄します。スタッフのみならず、当施設を利用する宿泊ゲストにも客室でのゴミの分別への取組みをお願いします。有機廃棄物はコンポストにて肥料化し、当施設の野菜畑にて再利用します。事前にゲストの食事に関する要望を聞き取りすることで、食べ残しを減らすよう努めます。





#### ◆エネルギー使用の効率化

SEの主たるサービスは、徒歩または自転車で移動するアクティビティであり、化石燃料の使用は最小限にします。ゲストの現地への移動は公共交通機関を推奨しています。

SS利用では、持続可能性を考慮した施設使用規則を設け、全スタッフが理解し従います。設備ではエネルギー消費効率の良い電球、家電、その他の電子機器を使用します。使用しない場所、時間帯の照明と電子機器の電源は切ります。

当全施設で使用している電力は、CO2排出のない100%自然エネルギー由来の電力提供とその普及へ貢献しているハチドリ電力から購入しています。やむを得ない理由からの電力供給会社の変更が発生する際も、CO2排出削減へ貢献できる電力会社を代替として契約します。

#### ◆節水対策

SEおよびSSでは、限りある地域の水資源を無駄なく利用するよう努めます。設備で使用するトイレは全て節水型トイレを導入し、水道の蛇口は可能な範囲でその水流量を抑えて使用します。畑の野菜への水遣りや使用したバイクの泥を洗い流すには用水路の水を使用します。

#### ◆移動手段

ツアー催行およびSS運営に係るスタッフおよび参加ゲストの移動は可能な範囲で最も持続可能な移動手段を推奨します。公共交通機関を利用する際は、その地域に根付いた交通機関を優先し、さらに複数ある場合は、その中でもより持続可能性への取組みを実施している会社の選択を推奨します。

#### ◆宿泊施設

持続可能性への取組みを実施しているSE直営の宿泊施設であるSS、またはその地域の持続可能性へと繋がる宿泊施設を優先利用します。また、顧客へも同様に推奨します。

#### ◆子どもの保護

SEおよびSSでは、子どもの権利と安全を尊重することを保証します。14歳以下の子どもの雇用はしません。また、これを保証しないプロバイダーとの取引は行いません。定期的な子どもの性的搾取に関する社内ワークショップを開催し、スタッフの意識および知識向上に努めます。

この他、SEでは学生が社会的責任および持続可能への取組みを学ぶ機会の提供として、インターンを受け入れます。





#### ◆地元食材の調達

SE および SS では、フェアトレードと持続可能性の原則に基づいて生産された地元の食材・食品を優先して購入し、提供します。また、地元で生産された伝統的な特産品を製造販売する店舗や、その土地で生産された食材を利用してその土地の伝統料理を提供している飲食店を優先してゲストへ紹介および利用します。

#### ◆生物多様性への配慮

SE および SS では、地域の生物多様性への悪影響を可能な限り抑えられるよう配慮しています。ウェブサイトでは現地の絶滅危惧種に関する情報を提供し、ツアーでは舗装された歩道や公道を使用します。お茶休憩では生分解性のティーバックを利用し、使い捨てのコップは使用しません。施設内にある野菜畑で農薬は使用しません。また、環境への負荷を削減するためにも、可能な限り環境に配慮した洗剤類を使用します。

#### ◆本物の魅力を伝える努力

SE および SS では、運営するアクティビティと施設に地元の芸術、建築、歴史等の文化遺産の要素を積極的に取り入れています。その土地の文化遺産の本当の価値を感じ、経験してもらえようような商品づくりを約束します。

#### ◆コミュニティへの貢献

SE および SS はその土地に根付く地域社会の生活と文化を尊重し、その継承の為にも地域の人々との協力体制の構築に努めます。SE スタッフは日常から地域の人々と積極的に交流し、アクティビティの際には実際に地域住民とゲストがその地域の価値を交換共有できる場の提供に努めます。また、地域の知的財産権を尊重し、可能な限り、寄付や場所・人材の提供といったかたちで地域や学校積極的に参加・協賛します。加えて、地域住民や社会への負担を削減するためにも、関わりのある地元の人々への不都合などの聞き取り調査も実施します。

